

【令和3年度の事業報告書】

令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

特定非営利活動法人 子どもの心理療法支援会

I 事業の成果

引き続き、児童福祉領域の対象となる子どもと発達障害をもつ子どもが、心理療法が受けられるように、京都市の御池心理療法センターと大阪市の大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室、梅田東心理療法研究室ポモナ(2022年4月に新大阪心理療法オフィスから委託先を変更)と委託契約を結び、心理療法支援の充実に努めている。京都と大阪で子どものアセスメントや心理療法、および保護者・関係者へのコンサルテーションの資金面での支援を行っている。児童福祉領域の対象となる子どもに関しては世帯の所得に応じて1回3000円から5000円を、発達障害の子どもに関しては1回3000円を支援している。

1. 児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的心理療法の支援事業について

今年度は児童福祉施設児童、在宅児童の合計27ケースについて、アセスメントおよび心理療法の支援が行われた。

- ① 児童福祉領域の対象となる子どもへのアセスメント支援:御池心理療法センターにおいて6ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて合計172回の支援が行われた。梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス)においては、2ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて合計18回の支援が行われた。
- ② 児童福祉領域の対象となる子どもへの心理療法支援:御池心理療法センターにおいて、15ケースに対して、子どもの心理療法、保護者へのコンサルテーション合わせて759回の支援が行われた。大阪心理研究所・京橋心理相談室においては、1ケースに対して、子どもの心理療法、保護者へのコンサルテーション合わせて90回の支援が行われた。梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス)においては、1ケースに対して、子どものアセスメントと養育者などへのコンサルテーションを合わせて、合計55回の支援が行われた。

2. 発達障害の子どもに対する精神分析的心理療法の支援事業について

今年度は、38ケースについて発達相談サービスおよび心理療法の支援が行われた。

- ① 発達障害児へのアセスメントサービス(発達相談サービス)事業支援:御池心理療法センターにおいて、25ケースに対して、合計307回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、2ケースに対して、合計33回の支援が行われた。梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス)においては、1ケースに対して合計9回の支援が行われた。
- ② 発達障害児の心理療法支援:御池心理療法センターにおいて、4ケースに対して、子どもの継続的な心理療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて87回の支援が行われた。大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室においては、6ケースに対して子どもの継続的な心理療法と保護者へのコンサルテーションを合わせて368回の支援が行われた。

3. 養育者の心理相談・育児支援事業について

- ① キンダーカウンセラー派遣事業支援:昨年度に引き続き京都市内の1施設に対して、19回分の支援を行った。また、大阪府内の1施設に対して19回分の支援を行った。相談費用の半額を幼稚園が負担し、残りの半額を当NPOが支援している。

② 児童養護施設等へのコンサルテーション事業支援:今年度は問い合わせが一件あったが、申請には至らなかった。

4. 精神分析的な心理療法の研修・セミナーの企画・運営について

① 臨床セミナー事業:「京都精神分析・臨床セミナー」を企画し、年6回開催した。今年度は、52名の参加者があり、参加者アンケートでは毎回高い評価を得ている。また、このセミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の定める「定例型研修会」としても承認されている。また「京都精神分析・臨床セミナー」の受講者に対して「基礎の基礎セミナー」も開講し、精神分析的な心理療法の導入の機会を提供している(参加者15名)。新型コロナウイルス感染防止対策として、全回オンライン開催とした。

② 研修事業:「精神分析的な心理療法研修プログラム」を通年で開催している。2022年4月開講の研修プログラムでは、全16コースを設け、延べ158名の専門家が研修を受けている。2022年9月に、海外の講師を招聘したオンライン研修を専門会員の企画に賛同する形で主催し、30名が参加した。

2018年4月より、「観察と臨床基礎コース」と「セラピスト養成コース」の2つの訓練コースを新設し、2022年4月に「観察と臨床基礎コース」は5期生、「セラピスト養成コース」は3期生を迎えた。子どもの心理療法支援会精神分析的な心理療法士の養成を促進し、サポチル活動(特に心理療法支援事業)にコミットする人材を増やすことを目的に、凝集性の強い研修内容を提供することとなった。「観察と臨床基礎コース」は2022年3月に1名、「セラピスト養成コース」は2名の修了生を輩出した。「観察と臨床基礎コース」は現在15名の訓練生が、「セラピスト養成コース」には8名の訓練生が在籍している。

2020年4月より、プログラムによっては新型コロナウイルス感染防止対策としてオンライン開催としている。また、2022年11月27日にオンラインによる乳児観察および訓練コース説明会を開催した。

※ 2012年度より開始した「子どもの精神分析的な心理療法士」の資格認定制度に対して、今年度は2名の申請があり合格した。現在21名の資格取得者を輩出している。

③ サポチル関東事業:関東地方でもサポチルの活動や子どもの精神分析的な心理療法の訓練と実践の普及を目指し、本格的に事業が開始されている。

・関東「臨床セミナー事業」:2021年10月～2022年3月までに3回(参加者90名)、2022年4月～9月までに3回(参加者は68名)開催した。新型コロナウイルス感染防止対策としてオンライン開催とした。

・関東「研修セミナー事業」:2022年9月に「青年期アセスメントセミナー」を開催し、20名の参加があった。また、2022年4月開講のプログラムとして7コースを設け、合計47名の専門家が研修を受けている。

5. 子どもの精神分析的な心理療法に関する啓蒙・広報活動について

① 広報活動事業:会報(年1回発行。会員および関係諸機関向け)、メールマガジン(月1回発行。正会員向け)、サポチル通信(年1回発行。会員向けニュースレター)を作成し発送した。

また、2018年7月より、ホームページ上でオンライン決済システムを導入し、寄付をクレジットカード決済できるようにした。発達相談サービスや寄附のチラシ、しおりを作成し、研修会等で配布している。ツイッターやフェイスブックでの情報発信も定期的におこなっている。

② 運営資金獲得事業:今年度の寄付件数は延べ187名で、寄付者数は116名であった。

経済産業省中小企業庁による事業復活支援金を申請し、2022年6月に100万円が給付された。2021年7月、当法人の事業「発達相談サービス」「児童福祉領域アセスメントサービス」に対して、ファイザー株式会社の「心とからだのヘルスケアに関する市民活動」の助成に応募した助成を申請したが、一次審査は通過したものの二次審査の結果は不採択であった。

6.精神分析的心理療法に関する研究活動について

研修プログラムのコースである「京都精神分析研究会」、サポチル関東の研修プログラム「サポチル関東研究会」では、精神分析に関する文献の研究、事例の検討会などを行い会員の研修や研究活動を支えている(参加費無料)。

II 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	支出額 (千円)
精神分析的心理療法の研修・セミナーの企画・運営事業	臨床セミナー事業 2021-22年度 京都精神分析・臨床セミナー	(A)6回/年度 (B)オンライン開催 (C)9人×6回	(D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)52人	2,312
	臨床セミナー事業 2021-22年度 基礎の基礎セミナー	(A)6回/年度 (B)オンライン開催 (C)1人×6回	(D)子どもの心理療法の初学者 (E)15人	
	臨床セミナー事業 2021-22年度 子どもの精神分析的 心理療法セミナー	(A)2回/年度 (B)オンライン開催 (C)4人×2回	(D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)延べ213人	
	研修事業 (研修プログラム・乳児観察 ワークショップ・乳児観察 報告会) 専門性の高い内容を学ぶための 小グループセミナーおよび勉強会	<研修プログラム> (A)2022年4月～ (B)御池心理療法センター/ 梅田/なんばオフィス/ 京橋心理相談室/オン ライン開催 (C)4人 <訓練コース> (A)2022年4月～ (B)御池心理療法センター/ 梅田/なんばオフィス/ オンライン開催 (C)3人 <セラピスト養成コース説明 会> (A)2022年7月10日 (B)御池心理療法センター/ オンライン開催 (C)3人 <乳児観察および観察と臨 床基礎コース説明会> (A)2022年11月27日	<研修プログラム> (D)心理療法の専門家及 び心理療法を学ぶ学生 (E)延べ158人 <訓練コース> (D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)23人 <セラピスト養成コース説明 会> (D)心理療法の専門家及び 心理療法を学ぶ学生 (E)11人 <乳児観察および観察と臨 床基礎コース説明会> (D)心理療法の専門家及び	9,905

		(B)オンライン開催 (C)3人	心理療法を学ぶ学生 (E)23人		
	サポチル関東研修事業 (臨床セミナー・研修セミナー) 関東地方で専門性の高い精神分析的な心理療法を学ぶセミナー	<臨床セミナー> (A)2022年4月～ (B)オンライン開催 (C)7人 <研修セミナー> (A)2022年4月～ (B)オンライン開催 (C)7人	<臨床セミナー> (D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)90人 <研修セミナー> (D)心理療法の専門家及び心理療法を学ぶ学生 (E)延べ47人	4,138	
◇児童福祉領域の対象となる子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業 ◆子どもに関わる専門家に対するコンサルテーションへの支援事業	心理療法支援事業	◇心理療法及びアセスメント面接にかかる料金補助 ◆関係者へのコンサルテーションにかかる料金補助	(A)2007年10月～継続中 (B) 御池心理療法センター / 大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室 / 梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス) (C) 17人	(D)児童養護施設入所児童、児童養護施設退所児童、自立支援施設児童、知的障害児施設、里子、被虐待児、及び保護者、学校職員、施設職員 (E)約60人	7,869
◇発達障害の子どもに対する精神分析的な心理療法の支援事業 ◆養育者の心理相談・育児支援事業		コンサルテーション支援	(A)2014年10月～継続中 (B)今年度対象なし (C)一人×一回	(D)施設職員 (E)述べる人	
		◇心理療法及び発達相談サービスにかかる料金補助 ◆発達障害の子どもへのコンサルテーションに対する支援	(A)2007年10月～継続中 (B) 御池心理療法センター / 大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室 / 梅田東心理療法研究室ポモナ(および新大阪心理療法オフィス) (C)17人	(D)発達障害をもつ子どもと養育者 (E)約80人	
		キダーカウンセラーの派遣支援	(A)07年12月～継続中 (B) 対象となる幼稚園 (C) 2人×19回	(D)保護者、園児、保育士など (E)延べ約60人	
子どもの精神分析的な心理療法に関する啓蒙・広報活動事業	広報活動事業 メールマガジン、サポチル通信 ホームページ、会報、チラシ	(A)通年 (B)事務所 (C)8人	(D)会員・市民 (E)多数	1,121	

	運営資金獲得事業 寄付金や助成金の獲得を 目指す	(A)通年 (B)事務所 (C)4人	(D)支援を受ける子ども及び養育者、 子どもの福祉に関わる 関係者など (E)多数	
精神分析的心理 療法に関する研究 活動事業	研究活動事業 精神分析研究会の研究・研修 活動の支援	(A)10回 (B)御池心理療法センター /オンライン (C)3人	(D)心理療法の専門家 及び心理療法を学 ぶ学生 (E)述べ約30人	0

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。